

U S オープン 報告書

期日 2006年8月28日～9月9日

会場 ニューヨーク



団 長	宮浦 典善
監 督	越善 隆
コ ー チ	福永 二郎
男子選手	伊藤 竜馬
女子選手	的場 裕加



越善 隆

グランドセントラル駅からUSオープンテニス会場のあるフラッシングメドウのある駅まで、地下鉄で約45分である。日本の地下鉄と違い、スピードが遅い。マンハッタンの地下から地上にできれば、スピードはさらに落ち、日本の路面電車のように至る所に停止しては信号の合図で動くといった具合である。たいていがこんな具合で、あまり細かい所にはこだわらないような雰囲気である。それが試合会場に行くとい変する。

テニスの全英・全米は4大会において、やや他2大会よりも上位にランクされるのではないのでしょうか。静の全英に対し、動の全米、そういう意味では全米オープン私のあこがれでもある。まさにそのあこがれの全米オープンに多少なりともかかわりを持つことができた事はうれしい。あのセンターコート(アーサーアッシュスタジアム)での試合は、どれも迫力があり観客と選手が一体となってゲームをしているような、映画でも見ているような、そんな感じである。そのセンターコートも来年から、ブリージーン・キングスタジアムと名称を変更するようである。

このような素晴らしい所で、我が選手達は例年になく頑張りを見せた。的場選手は予選の1回戦敗退で残念であったが、伊藤選手は、予選を2回勝ち抜き本戦でも1回戦を突破した。2回戦は残念であったが、この遠征が開始されて、4年目にして初の本戦出場がかない、しかも本戦初戦勝ち新しい歴史を作ったともいえる。今後この遠征が続く限りこれが目標となるであろう。シングルス本戦入りでダブルスも出場が認められ、ロシア選手との初戦も勝ち、2回戦で敗退したが本人にとっては貴重な経験になったと思う。

最後に、ウィルソンより派遣のコーチの福永二郎さんには心から感謝申し上げたい。毎年参加しているとはいえ、練習コートの確保から始まり、移動・試合時間・サインナップ・食事等選手の健康管理に至るまでサポートしていただき、彼なくしては今回のような好成績を上げることができなかつたであろうと思う。選手も同様であろう。

今回の遠征はさまざまな面で、今後の高体連テニス部の発展につながるものと確信し、報告と致します。





伊藤竜馬

今回のUSオープンジュニアの遠征で大変お世話になりました全国高体連テニス部の先生方、読売新聞西武本社及びウィルソンのスタッフの皆様から心から感謝申し上げます。また、コーチを担当して頂いたウィルソンの福永さんには、何から何まで面倒をお掛けしました。移動・練習・食事等あらゆる面でサポートしていただいたおかげで、万全の状態でする事ができました。

試合では2試合の予選を勝ち抜き、本戦でも勝利することができました。このレベルでのプレーをした事によって国内では感じる事のなかった課題も見つかり、その課題を一つずつクリアし、今後の選手としての活動に活かして行きたいと思います。また、ダブルスにおいても出場することができたりと多くの試合経験を積むことができた大会となりました。本戦に出場することによって、フェデラー・シャラポフ・エナンなどの世界のトップの選手と同じラウンジで食事や試合の順番を待つことなどが可能になり、大変貴重な体験をすることもできました。後に続く1年生・2年生の皆さんもSENBA TSUでは頑張ってください。ぜひ、この体験をしてほしいと思います。自分もまたいつの日かフラッシングメドウに戻れるように努力して行きたいと思います。





加裕場裕

まず始めに、今回の遠征において多くのご支援とご協力をいただいた古賀先生をはじめ、全国高体連テニス部の先生方、アメヤスポーツの皆様にご感謝したいと思います。本当にありがとうございます。

自分は予選1回戦で同じ日本の選手に負けてしまい、本当に悔しい思いをしました。しかし、日本で負けるのとはまた違った負けを感じ、これからのいい経験になりました。

また、トッププロの試合や練習を間近で見ることができ、今後の自分がテニスで更に上を目指していく上で目標をはっきりすることができ、とても貴重な体験になりました。

今回体験した事を忘れず、また練習を積み重ね今度は自分の力でUSオープンの一般で試合に出場できるように頑張りたいとおもいます。

今回初めて海外へ来て、たくさん不安がありましたが、完璧にサポートして頂き遠征中全く問題なく健康に行程を終了する事が出来ました。何時の日かこの遠征での恩返しを出来ればと思っています。そして最後にもっともっと強くなりたいと思いました。



U S O P E N 大会結果

女子シングルス

予選1回戦

的場裕加 3 - 6 I t o E m i k o (J P N)
1 - 6

男子シングルス

予選1回戦

伊藤竜馬 7 - 5 H o c h w a l t T y i e r (U S A)
0 - 6
6 - 3

予選2回戦

伊藤竜馬 6 - 4 G a r a n g a n g a T a k a n y i (Z I M)
6 - 2

本戦1回戦

伊藤竜馬 6 - 3 C l i n t B o w i e s
6 - 3

本戦2回戦

伊藤竜馬 1 - 6 M i c h a l K o n e c n y
4 - 6

男子ダブルス

本戦2回戦

伊藤竜馬 4 - 6 R o b e r t o M a y t i n
Y i a d i m i r 4 - 6 R u p e s h R o y (I N D)



歴代優勝者バナー



日本テニス協会盛田会長をはじめ、渡辺さん、藤井さんらが応援にかけつける

最後のアガシ選手の勇姿

